

2022年度日系社会研修員受入事業（多文化共生推進/日系協力型）一覧

所管センター	実施形態	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数	上下	来日	終了	研修期間	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	研修員資格要件					①目標	②成果	③期待される在日日系人コミュニティへの貢献（活動）	④計画（内容）	備考			
																		現職・資格・知識	学歴	経験年数	年齢	日本語能力								
1	横浜	長期	継続	NL1	教育	在日日系社会と外国人支援団体の取り組み	Nikkei society in Japan and activities of foreign support organization	1	上	6/19	3/20	9か月	特定非営利活動法人ABCジャパン	NPO ABC Japan	https://www.abc-japan.org/	藤田 裕美子	WATANABE Yumiko (Ms.)	horbu@abc-japan.org	子どもが好きな社会活動に興味のある方	不問	不問	不問	21~45歳程度	N3	ポルトガル語	研修員が、在日日系人社会と日本の多文化共生の現状を理解し、課題解決に向けた知見を習得する。	1. 多文化共生のまち観見に数多く暮らす日系人や様々な国から移住してきた家族が、どのような課題を抱えているか。社会において生活しているのかを地域の活動を通じて肌で感じ理解する。 2. 公立小中学校やフリースクールに通う日系人子弟や外国人に接する子どもたちが直面する言葉や文化の壁、あるいは学習の困難さなどを理解し、日本における移民への教育の現状について学ぶ。 3. 当団体のプログラムへの補助業務を行う中で、日本のNPO法人の運営方法や経費の取扱い、交流し、課題や問題点の教育の現状について学ぶ。 4. 地域の高校や大学、国際交流ラウンジ等で、多文化共生イベントや多文化教育プログラム等と共に企画・実施し、多文化共生社会の実現につなげる。	1. 講義（内容）：在日日系人社会、日本の多文化共生政策、当団体の活動、外国につながる子どもへの支援、日本の教育システム、外国人市への相談対応、日本語講座の受講等 2. 見学：フリースクール、小学校内放課後教室、大人向けの日本語教室、キャリアアップ支援教室、多文化教育プログラム、日系人子弟対象のポルトガル語教室等 3. 見学：公立の小中学校、高校、専門学校、国際交流ラウンジ、区役所・市役所、教育委員会、日系人が経営する企業、領事館、大使館等 4. 活動報告：検討中		
2	北陸	長期	新規	NL2	ガバナンス	多文化共生推進支援	Support for promoting multicultural coexistence	1	下	10/2	1/19	4か月	小松市国際交流協会	Komatsu International Association	https://39kia.jimdofree.com/	事務局宛 (本田 昌代)	Komatsu International Association	kia@tvk.ne.jp	【必要資格】母語がポルトガル語であること。パソコン（PPTなどの）編集スキル	不問	不問	不問	不問	日本語能力検定試験N2以上	日常会話程度の英語力があればよい	日本の行政における外国人支援策や多文化共生の現状、教育システムについて理解し、母国との違いについて学ぶ。 母国における日本語学習支援にて研修成果をかし、日本語の簡単な指導技術を習得する。	・小松で安心して働き、生活するための情報やルールを広く周知するための支援 ・在日日系人子弟の多文化理解の支援 ・在日の外国人住民への日本語習得、外国籍児童生徒に対する母語教育の支援	1. 講義：県内・市内外国人及び外国籍児童受入、日本の教育システム、外国人支援策、日本語教育などについて学ぶ。 2. 見学・実習：外国人支援施設、外国人支援団体、日本語教室、市内小・中学校学習支援ラウンジなどを視察し、関係者と一緒に協働しながら、課題を理解する。 3. 作成：1、2の活動を通じて得た課題に対し、解決するための「手引き」作成 4. 発表：研修成果や、研修の成果物としての「手引き」を関係者各所へ向けに発表する	・小松市内に住む日系人の多くがブラジルにルーツがある。 ・市内の民間企業「KOMATSU」の工場がブラジル、スエズ市にあるため、スエズ市内にも日系企業が多く、関係が深い。	
3	東京	長期	新規	NL3	教育	青少年活動/外国人にルーツを持つ子どもたちへの支援研修	Support for children and youth with multicultural background	1	下	11/6	3/17	4か月	特定非営利活動法人青少年自立活動センターYSGグローバルスクール	NPO Youth Support Center YSG Global School	https://www.ko-some-nihongo.com/index.html	田中 宝紀	Tanaka Iki (Ms.)	anaka@kodomo-nihongo.com	子どもの教育又は青少年支援活動の実践経験がある方。または今後母国でこうした活動に取り組んでいく意欲のある方	1年以上	N2以上	NPOによる海外ルーツ青少年に対する教育および自立就労支援活動、ITの支援活動への活用ノウハウを学ぶ	習得する技術 ①支援活動におけるIT活用：Zoom/Slackを活用した当事者へのアウトリーチ、支援費の提供およびSNSを活用した当事者へのアウトリーチ技術 ②海外にルーツを持つ子どもに対する教育支援技術：子どもを対象とした日本語教育、教材制作/ノウハウ ③海外にルーツを持つ子どもを対象とした多文化コーディネート技術：不就労、不登校、発達障害等の子どもの対象とした多文化コーディネート（保護者相談、地域や関係機関との連携協力、アウトリーチなど） ④海外にルーツを持つ若者を対象とした自立就労/キャリア教育技術：日本語を母語としない若者のためのITスキルトレーニング、就労セミナーの実施、キャリア教育などの関連技術 ⑤関連日本語教育・表現：公営活動及び教育・自立就労支援に関連する日本語教育や表現の習得	・在日日系人子ども向け（学習支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実施含む） ・在日日系人向け（就労支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実施含む） ・上記を通じた在日日系人子ども、若者、生活者に対する母語対話機会の提供	1. 子どもの日本語教育プログラムの見学 2. 子どもの日本語学習プログラムの見学、実習 3. 子どもの高校進学支援プログラムの見学、実習 4. 多文化コーディネート実習 5. 青少年自立支援プログラムの見学、実習 6. 在日日系人子ども向け（学習支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実施含む） 7. 在日日系人向け支援（就労支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実施含む） 8. 上記を通じた、在日日系人子ども・若者、生活者に対する母語対話機会の提供					
4	東京	長期	新規	NL4	教育	外国につながる子どもたちに対する学習支援と日本社会の多文化共生	Learning Support for Children with Foreign Roots and Multicultural Conviviality in Japanese Society	2	上	5/8	3/10	10か月	NPO法人多文化フリースクールちほ	NPO Multicultural Free School Chiba	不明	白谷 秀一	Shiraishi, Shuichi (Mr)	cjmsn833@ybb.ne.jp	将来、研修の成果を日本語教師や多文化共生の分野で生かす予定があること	特になし	日本語能力検定2級程度	特になし	①外国につながる子どもたちに対する日本語教育と学習支援の方法を習得する。特にフリースクールを中心とした学習支援のサポートを行うことで、子どもたちの成長に応じたかわり方を学ぶ。 ②日本語教師養成講座を修了することで、日本語教師に必要な理論を学習する。 ③継承支援やフィールドワークを通して外国にルーツを持つ子どもたちの視点で日本の多文化共生の現状と課題を明らかにする。 ④日本の大学生と交流し、調査やグループワークを通して多文化共生についての政策提言を作成する。	①日本語教育の理論と実践を学ぶ ②継承支援に関する基礎知識と実践を学ぶ ③日本の教育システムや多文化共生の現状について理解し、海外との比較が出来る視野を持つ。 ④日本の学校関係者や行政（教育委員会や国際交流協会）、市民社会や大学のネットワークを築く ⑤帰国後、母国における学習支援において研修成果を還元し、指導力の向上を目指す	・視察：千葉県内の国際交流協会や教育委員会、学校、外国人の居住地（行徳、船橋、山根、成田）、地域の日本語教室 ・実習：多文化フリースクールも及び県内公立高校にて学習支援 ・授業：日本語教師養成講座聴講（遠征）、千葉県小川崎千七セメナール（社会学）（遠征） ・報告会参加：千葉大学経済経営学系アジア研究会への参加（在日外国人や教育をテーマとした報告も多い） ①フィールドワーク：日系人の居住地である八千代市本郷団地や村上天など ②報告会：千葉の多文化共生に対する提言（仮題）を行政や学校関係者や市民社会に対して行う					
5	筑波	長期	新規	NL5	その他	日系人を含む在日外国人の若者のキャリア支援、コミュニティエンパワメント	Career support for young foreign residents including Nikkei & Community Empowerment	1	上	5/8	11/8	6か月	茨城NPOセンター commons	IBARAKI NPO CENTER COMMONS	http://www.npo-commons.org/	横田 能洋	Yoshihiro YOKOTA (Mr.)	info@npo-commons.org	日系ブラジル人。教育または就労支援に関する仕事の実践経験が2年以上。	不問	2年以上	不問	日本語能力検定2級以上が望ましい（応相談）	ポルトガル語	若者のキャリア支援や自立支援の手法と、多様な市民が参加するコミュニティづくりの方法を習得する。	本研修では、研修員が高校などで日系人を含む外国人ルーツの生徒が地域の多様な職業の人や先輩と交流できる学校内サロンや職場見学の実施を当協会スタッフと行う予定である。外国人ルーツであることと関係する仕事や職種を把握したり、仕事に就くための学習や体験プログラムも行う。そのプログラムは、母国に比べて働きたいとされている若者や工場以外の仕事を探している大人にも提供される。 1 日本の高校でのキャリア教育、外国籍住民と地域や行政機関との関わり、若者の自立支援、コミュニティ活動、NPOの状況把握し、母国への違いや参考にできるように学ぶ。 2 キャリア支援の手法やキャリア教育の方法を学ぶ。 3 コミュニティエンパワメントの方法論や市民連携の手法を学ぶ。	講義：日本の教育システム、高校から社会に出る前のキャリア支援と卒業後の就職状況、外国籍住民への市民教育の状況、日本の自治体による各種サービスと外国籍住民の生活状況、日本のNPO活動の概況、組織運営、行政や企業との連携の状況 見学：県内小中学校、高校、特別支援学校、外国人学校、各種専門学校、大学、市役所、就労支援機関 実習：高校での対話サロン、キャリア教育、職場体験プログラムの企画運営のサポート、地域の外国籍住民向けのサロンや学習会、交流行事の企画運営のサポート 実報告：日本と母国との比較について報告し、学校、行政、NPO関係者と意見交換を行う。	なし		
6	筑波	長期	新規	NL6	その他	日系人に対する日本文化の理解促進	Promoting understanding of Japanese culture for Nikkei	2	上	5/8	2023/3/末	10か月	特定非営利活動法人オプションインターナショナル・スクール	NPO OPTION・INTERNATIONAL・SCHOOL	なし	ルシアネ・サカウエ・マユミ (Ms.)	LUCIANE MAYUMI SAKAUE UEMURA (Ms.)	escolaoopcao@yahoo.com.br	ブラジル日系人想定。自国で、日系人社会における日本文化に関する知識を習得していること。	不問	不問	不問	不問	現在の能力は問わないが、日本語の能力を身に付ける必要がある。（当校の日本語教師によるスキルアップ支援は可能。）	ポルトガル語	研修員が、日本の地域社会にある日本文化を発見し、継続的な交流のツールとして生かすと共に、研修での学びをブラジルにおける日系人社会に還元すること	①研修員が茨城県や常総地域の歴史や文化を把握する。 ②研修員が、体験、参加、交流を通して、茨城県、常総地域に根差した日本文化を知ってもらう。 ③2をもとに、研修員が、より自国での応用可能な技術、手法を習得する。 ④研修員が、帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1. 講義： ①日本における祭りなどの地域文化・行事について ②日本における世代間の意識の差や文化継承について ③地域における通年や年末年始の季節ごとの伝統文化とその継承について 2. OJT：行政（市役所・教育委員会・学校・社会福祉協議会等）との協働 3. 交流：地域社会・学校・地域ボランティア 4. 発表：研修成果や、研修の成果物としての「手引き」を関係者各所へ向けに発表する	宿舎は、当該職員関係者の住居施設を予定。具体的な立地、設備等は後日、紹介者へ連絡	

7	関西	長期	新規	NL7	教育	在日日系人コミュニティの活動支援	Support the Nikkeijin community in Japan by using communication media in Spanish	2	上	第一希望 5/8 6/19 or 7/24 の日程でも相談可	3/7	最大10ヵ月	特定非営利活動法人多言語センター FACIL	Multilingual Center FACIL	https://tcc117.jp/facil/	山口 までか	Yamaguchi Madoka (Ms.)	facil@tcc117.jp	基本的なパソコンスキル (Word, Excel 操作、SNS管理)	不問	2年程度 (プロ・アマ問わず、応相談)	不問	不問	1名は日常会話レベル、もう1名は報告書作成レベルの読み書き能力があれば望ましい。	1. 研修員は、日本におけるコミュニティ防災の手法を学ぶ 2. 研修員は、ラジオ、冊子、SNSによる情報発信に関する技術を習得する 3. 研修員は、在日日系人および外国人を持つ子どもと教育 (読書、継承文化教育等) に関する知識を習得し、自国の防災教育に活かす 4. 研修員は上記経路において、在日日系人の現状について理解することに加え、自ら課題を抽出し、課題解決に向けたネットワークを構築する等の活動能力を身に付ける。	・在日日系人コミュニティの防災活動への支援 ・在日日系人の生活情報、生活相談、生活課題解決への支援 ・在日日系人児童生徒の教育全般への支援	1. 講義 ① 在日日系人コミュニティの防災活動 ② ラジオ、冊子、SNSによる情報発信 ③ 在日日系人の子どもと継承文化、継承文化教育、学習支援、進路指導等の教育サポート ④ 在日日系人の生活相談 (行政手続き、子育て、医療、仕事など) ⑤ 情報の多言語化、コミュニティ組織運営、医療連携 ⑥ 市民団体運営管理全般 2. 実習・調査 ①②③④⑤⑥のすべてにつき、講義後に実習を予定。特に定期的な実習としては、防災教育ならびに訓練、インターネットラジオ番組 (Latin-aの制作 (海渡)、情報冊子Latin-aの作成 (月刊)、Facebookページの運営 (毎日)、外国人ルーツを持つ子どもの教育 (母語教育計画) など、実習を通じて現状認識および関係者との議論の中から、自ら課題を見つけ、調査およびヒアリングを踏まえた、解決策の提案までを研修実施団体のスタッフがサポートする。 3. 見学・会議・イベント 研修員の参加するプロジェクトに応じて見学およびイベント参加計画。 関連団体や、兵庫県や神戸市等行政の実施する会議へ参加。地域の国際理解教育への協力。 4. 調査 定期的に調査を実施 (月1回および必要に応じて) 5. 発表 たかひろコミュニティセンター関連団体にて、研修報告と意見交換を実施。	映像編集スキルや記事執筆スキル、ITスキルも活かされます 本コースに応募後は、5月来日コースの応募締切の応募締切となります。
8	中部	長期	新規	NL8	教育	在日日系ブラジル人へのソーシャルワーク	Social Work for Japanese Brazilian Residents	1	上	6/19	3/4	8ヵ月	NPO法人可児市国際交流協会	Kani International Exchange Association	http://www.ck.ne.jp/~frevia/	各務 真弓	Kakamu, Mayumi (Ms.)	mpokia@ma.ck.ne.jp	必要資格：特になし (ソーシャルワークや教育に関心がある方が望ましい) 母国言語：ポルトガル語	不問	不問	不問	不問	・地元行政及び外国人生活相談業務について十分に理解することにも、多文化ソーシャルワークについて知る。 ・日本在住日系人子弟への日本語教育及び母語教育に貢献できる。 ・日本の教育制度や関連の機関の役割を理解できる。 ・日系人子弟の就学及びキャリア教育に貢献できる。 ・研修員が母国において、生活における問題を抱える住民に対して、適切な助言や支援が出来るようになる。 ・地域性へのブラジル文化紹介などにより相互の文化理解ができる。	・相談窓口業務の研修により、課題の把握と解決策について提案し改善に寄与できる。 ・ブラジル文化の紹介や教育事情についての理解により、市民への多文化共生意識の啓発ができる。 ・在日ブラジル人子弟の日本語教育や学習支援について理解し、在日ブラジル人子弟の生活課題や母語指導による子どもたちの学習意欲の向上	★ 可児市及び可児市国際交流協会の取り組みを知り、在住ブラジル人の現状を知る ★ 在住ブラジル人の生活相談窓口研修及び行政窓口研修 ★ 在住ブラジル人子弟の日本語教育支援や学習支援についての研修 ★ 在住ブラジル人子弟の母語指導教室での研修 ★ 日本語初期指導教室で市内小中学校、県立特別支援学校の見学 ★ 多文化共生フェスティバルの運営実習 (10月来予定) ★ ブラジル文化の紹介とプレゼンテーションの研修 (小学校等での文化紹介)	当団体では定住外国人の子どもも教育事業を多く実施しており、日本語教育や子どもの教育について関心のある研修員が望ましい。また、2021年度、母語教育についての調査研究を予定しており、日本人のイデインティティや継承性について関心のある研修員にとっては、研修員自身の知識向上/研究に寄与できる。	
9	中部	長期	新規	NL9	保健医療	日系ブラジル人とのカウンセリングを通じた多文化共生	Multicultural Coexistence through Counseling with Japanese Brazilians	1	上	5/8	3/3	10ヵ月	公益財団法人豊橋市国際交流協会	Toyohashi International Association	http://www.toyohashi-tia.or.jp/	特岡 美代子	Takeoka, Miyoko (Ms.)	tia@tia.aichi.jp	必要資格：現在、カウンセリング一貫していることが望ましい 母国言語：ポルトガル語	不問	不問	不問	不問	・研修員が、相談業務を通して、海外 (国外) で働き生活するブラジル人を取り巻く環境の特徴や課題を客観的に理解し、問題解決に向けた考え方や手法を習得する。 ・関係機関との連携体制の構築を図り、ブラジル人市民にとって最適な相談体制を設けることで日本市民と適切な関係づくりの構築に向けての実践する能力を得る。	日本での生活や仕事におけるストレス、コロナ禍での環境変化にどう対応してよいのかから幅広い悩みや不安を抱えるブラジル人市民がライシシーの保守された相談先でカウンセリングが受けられる。それにより、研修員は問題の深い出し、関係機関資料に安心して取り組むための解決のための考え方や手法を習得できる。	【講義】 ・日本の労務管理の基礎知識 【意見交換】 ・関係機関 (入管・ハローワーク・社会保険事務所・保健所、税務関係、自治体・教育機関) ・日系人コミュニティとのコミュニケーションづくり ・他都市の国際交流協会職員とのコミュニケーションづくり 【調査】 ・日本語学習 ・日本文化理解 【見学】 関連施設、ブラジル人コミュニティ等		
10	中部	長期	新規	NL10	保健医療	教育・保育現場における子どもとの心理相談	Psychological Counseling for Children at School	1	上	5/8	3/3	10ヵ月	社会福祉法人せんむん会	Social Welfare Corporation SENNEN MURA	https://tabunkakibou.wordpress.com/information/	川上 真美恵	Kawakami, Kimie (Ms.)	tabunka.room.kibou4	必要資格：臨床心理士 (認定機関の指定なし) 利用可言語：ポルトガル語	不問	3	不問	不問	不問	① 研修員が西尾市でくらす多言語で育つ子どもたちの状況を理解する。 ② 研修員は対象児童生徒への適切なアセスメントの考え方を習得し、整理する。 ③ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	・対象となる子どもとの母語でのコミュニケーション実施 ・保護者への母語での説明支援、サポート ・研修員が対象となる子どもとの関係性、文化についての理解促進支援	1. 講義 ①日本でもくらす多言語で育つ子どもと家庭についての概要 ②日本の保育所・小中学校の概要 ③アセスメント手法 ④実習・OJ ⑤保育所・小中学校訪問、子どもの実態把握、アセスメントの実施 他 ⑥対象となる子どもとの関係性、校および集 ⑦調査 対象となる子どもへアセスメントを実施し、家庭や教育現場へ還元する方法について検討する ⑧セミナー 保育・教育関係者との情報交換会 ⑨発表 保育・教育関係者への成果発表	
11	中部	長期	新規	NL11	教育	ラテンアメリカからの子どもたちのための日本語指導者養成	Japanese Language Teacher Training for Children from Latin America	2	上	5/8	11/9	6ヵ月	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	C.E.P Mundo de Alegria	http://www.mundododealegria.org/	岡 則子	Oka, Noriko (Ms.)	okamundododealegria@	・母語言語はポルトガル語、スペイン語、日本語教師を目指す人が望ましい	不問	不問	不問	不問	1. 研修員が南米の子どものために有効な「母語での漢字指導法」「日本語の指導法」を習得する。 2. 研修員がそれぞれの国に合った「ひらがな表」「カタカナ表」を生徒と協働作業により作成する。 3. 自身のレベルにあったムンド校の日本語授業を受け、生徒の目線で日本語教育を考えると同時に、自身の日本語能力も向上させる。 4. 習得した指導法を在日外国人コミュニティに伝え、その有効性を実証するとともに、在日コミュニティの漢字学習へのモチベーションを向上させる。 5. 研修員が在日日系人の子どものための日本語教育の現状・課題について理解する。 6. 自身の研修での学びを発表する。	1. 年少者を対象とした「ひらがな」「カタカナ」の指導法を体感しながら習得し、実践する。 2. 漢字学習の子どもたちのための「漢字指導法」を体感しながら習得し、実践する。 3. 研修者の母国語での「ひらがな表」「カタカナ表」を作成する。 4. 年少者に有効な「日本語指導法」を体感しながら習得し、実践する。 5. 研修中、日本語の授業を受け、自身のレベルに合った日本語能力試験を受験する。 6. 南米では子どもたちの日本語学習について話し、その有効性を実証するとともに、自身の日本語能力も向上させる。 7. 南米では子どもたちに効果的に日本語を教えることができる者が育成されている現状を、研修員が自身の経験から学び、教材を作成していくことにより、帰国後、研修生が日本語指導者として成長するだけでなく、他の日本語指導者を養成することができる。	1. 生徒と協働で「ひらがな表・カタカナ表」を作成し、それを活用し日本語初級レベルのひらがな・カタカナ指導ができる。 2. ムンド校で開発した「母語での漢字指導法」を習得し、その有効性を日系人コミュニティに伝えることで日系人の漢字学習のモチベーションを向上させる。 3. 生徒と協働で「ひらがな表・カタカナ表」を作成し、それを活用し日本語初級レベルのひらがな・カタカナ指導ができる。 4. 漢字指導法を習得し、実践する。 5. 漢字指導法を習得し、実践する。 6. 漢字指導法を習得し、実践する。 7. 漢字指導法を習得し、実践する。 8. 漢字指導法を習得し、実践する。 9. 漢字指導法を習得し、実践する。 10. 漢字指導法を習得し、実践する。 11. 漢字指導法を習得し、実践する。 12. 漢字指導法を習得し、実践する。 13. 漢字指導法を習得し、実践する。		
12	中部	長期	新規	NL12	その他	外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」で学ぶ多文化メディアエーター研修	How to Become a Pluricultural Mediator: Active Learning at Latin American School "Mundo de Alegria"	1	上	5/8	8/9	3ヵ月	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	C.E.P Mundo de Alegria	http://www.mundododealegria.org/	岡 則子	Oka, Noriko (Ms.)	okamundododealegria@	・母語言語はポルトガル語又はスペイン語	不問	不問	不問	不問	1. 日本の在日日系人の課題、問題を把握する。 2. 子供たちの置かれている現状、教育問題を理解する。 3. 在日コミュニティの多文化共生のために何が必要であるかを自ら考え、課題解決策を提案する。 4. 研修での成果を日系人コミュニティで発表する。 5. 研修員が帰国後も母国にある日系企業・日系社会において潤滑になることが出来る。	・相手文化・思考を理解し共生に向けて積極的な知識、知見を広げる能力を身に付ける。 ・研修員が帰国後、南米在住日本人と地域性との潤滑油となるような能力を身に付ける。 ・日本語と南米をつなぐ友好関係を構築できる「草の根外交」につながる能力を身に付ける。	1. 生徒として帰国体験、高校生クラスに編入して入り、生徒と同じ体験をする。また、その間に生徒とできるだけコミュニケーションをとる。 2. 講義、学校長により多文化共生のノウハウ、南米とのつながり方 3. コミュニティで未だ孤立して生活している人たちに積極的に日本社会に溶けられるように考え方を提案する 4. 習得した体験を発表する機会を設け前らの言葉で伝える。 5. 授業実習 6. 児童・生徒へのヒアリング：問題発見、解決策の模索 7. 日系継承教育研修生及び意見交換 8. ミッション実施：課題解決を行う 9. 発表：上のミッション又は研修成果について発表 10. 振り返り・報告書作成		
13	中国	長期	新規	NL13	教育	幼児保育・教育	Child Care and Education	1	下	10/2	1/31	4ヵ月	鳥渡横出雲市	Izumo City, Shimane Prefecture	https://www.city.izumo.shima.ne.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.htm	岡田 大介	Okada Daisuke (Mr.)	hoikucity.izumo.shimane.jp	・幼児教育や保育についての基礎知識あること。 ・実務経験3年以上 (自営) ・子どもとのふれあいが好きで、毎日子どもと楽しく過ごせる人	不問	3年	不問	不問	日本における幼児教育を理解し、ブラジルとの違いを知り、日本の幼児教育をブラジルで実践できるようにする。また、将来的に在日の子どもの日本語の懸け橋になることを目指す。	1. (主に幼児教育における) 日本語コミュニケーション能力を取得する。 2. その手法を習得する。 3. 日本の幼稚園での園外活動を理解し、その手法を習得する。 4. 幼稚園の保護者や職員とのコミュニケーションの重要性を理解し、実践できるようになる。	幼稚園でのクラス補助業務を通じて、日系ブラジル児への言語支援により発達促進を図ることが出来る。また、幼稚園と保護者、園児との関係性を理解し、良好な関係性を構築することができる。	・講義：日本の幼稚園でのクラス補助業務、園外活動の計画立案、保護者とのコミュニケーション等。 ・実習：幼稚園等でのクラス補助、園内外での活動の準備、登園時の保護者や職員とのコミュニケーション支援。	日系ブラジル児の送迎幼稚園・保育所での活動が想定されている。

14	東京	短期	継続 NS1	教育	学校における多文化共生	Multicultural Symbiosis in School Education	3	下	10/2	10/31	1か月	NPO法人Gコミュニティ	G Community, NPO	https://zip-ed-gcommunity.jimdofree.com/	本堂 晴生 Hondo Haruo (Mr.)	hondo.haruo@gmail.com	小中学校もしくは中学校の教員資格又はこれに準ずる資格	小中学校もしくは小中学校の教員資格又はこれに準ずる資格	NIもしくはN2取得者、または相応レベル	(1)南米からの研修員と日本の教員が、それぞれの教育における学校制度、学校生活、教育観などの「違い」について、表層的な「違い」のみならず基となる考え方の「違い」について教員同士等ならではの深い議論と検討を行なう。 (2)上記で得られた知見をわかりやすいガイドブックにまとめる。 (3)並行して、日本の小中学校での日本語教室を含む学校生活の体験教室、市及び県教育委員会での研修、PIA員との意見交換、在日外国人キーパースとの意見交換、外国人児童生徒支援団体との意見交換及び実習等を行い、現場で知ることでその知見も上記(1)(2)に反映させる。 (4)ガイドブックも使用し研修員が講師となつて、県内の教育関係者向けのセミナーを開催し、知見を広めると共に、そこで得られた知見を基として研修員の考えを深化させる	(1)教育面における日本と母国の様々な「違い」に関する深い知見の蓄積及びそれを教育現場に反映させる教育技術の知見をわかりやすいガイドブックにまとめる技術 (2)セミナー講師を務めることによる知見の伝達と交流の技術	(1)在日系人が、普段断片的に経験する小中学校における「違い」起因のトラブル・違和感について、表層的な違いのみならずその基となる考え方で考える体系的な知見を得ることにより、受け身ではない積極的な教育への関わりが可能となる。具体的には、日本の学校支援活動、地域における町内会など共助活動。 (2)大学などの高等教育で視野に入れた「違い」を学ぶことにより、子どもの将来につながる教育プランを作成しやすくなり、多様性を育めた社会で活躍できる人間の育成に貢献できる	(1)研修員と日本の教員との教育面の「違い」の学び、検討・ミーティング(3時間×2回開催) (2)『南米各国と日本の小中学校の教育・学校生活文化の違いガイドブック』の作成 (3)現場実習・研修、日本の小中学校の日本語教室等、教育委員会、外国人児童生徒支援団体など (4)セミナー「南米各国と日本の小中学校の教育の違いを知り、多様な教育に生かそう」の開催	
15	関西	短期	新規 NS2	教育	母語による自己表現能力向上のための教材作成	Creating materials to improve self-expression ability in mother tongue	1	上	7/24	9/24	2か月	多文化共生センターひょうご	Tabunka Kyosei Center-HYOGO	https://www.tabunka-hyogo.org	北村 広美 Kitamura Hironi (Ms.)	hyogo@tabunka.jp	不問	不問	日本語能力試験「N2」または同等程度以上	スペイン語(母語)または同等程度以上	1 地域に暮らす多様なルーツをもつ子どもの現状を知り、教材の形式や題材など、具体的な内容を提案できる。 2 日本人だけでなく「多文化」の共生について考える機会をもつ、地域課題として「多民族」「多文化」の共生について理解する。	1 教材作成により、外国ルーツの子どもの学びの機会を増やし、コミュニケーションに新たな一歩を踏み出すきっかけを創出する。 2 日本人だけでなく「多文化」の共生について、研修参加者自らロールモデルとなることにより、子どもたちへのエンパワメントの一環となる。	1 日本語・日本文化研修、「東洋日本語教室」にて日本語および日本・地域の習慣、日本人のコミュニケーションの特徴について学ぶ。 2 日本人学習者との交流 3 地域の多文化共生の現状 4 研修員と日本の教員との教育面の「違い」の学び、検討・ミーティング(3時間×2回開催) 5 現場実習・研修、日本の小中学校の日本語教室等、教育委員会、外国人児童生徒支援団体など 6 セミナー「南米各国と日本の小中学校の教育の違いを知り、多様な教育に生かそう」の開催	
16	中部	短期	新規 NS3	教育	日本語初期指導	Initial Japanese Language Instruction	1	上	6/19	7/29	1か月	認定特定非営利活動法人 プラス・エデュケート	Plus・Educate	https://www.plus-educate.org/	森 園子 Mori Akiko (Ms.)	plus_educate@yahoo.com	必要資格、小・中学校の教員資格を有する。又は日本語指導の資格を有する。	不問	3年(日本語指導経験)	不問	ポルトガル語	1 日本の教育システムや多文化共生の現状について理解し、母国との違いについて学ぶ。 2 日本の学校現場における日本語支援の内容や方法、学校関係者との連携や保護者への対応のノウハウを学ぶ。 3 母国での日本語支援にて研修成果を生かし、指導力向上を目指す。	・外国籍等児童生徒に対する母語でのコミュニケーション支援 ・児童・生徒の多文化理解及び学校関係者の多文化理解の支援	講義、日本の外国籍児童生徒の現状と課題、大人と子どもとの指導法の違い、日本語教授法、やさしい日本語、日本語を教えるポイントなど 見学：プラス・エデュケート内日本語教室及び放課後学習支援、オンライン授業など 実習：日本語初期指導サポート、学習支援サポート 発表：母国紹介(管轄の小学校にて)
17	中国	短期	新規 NS4	防災	日本における防災と災害支援について	Disaster Preparedness and Response in Japan	1	上	7/24	9/8	1.5か月	特定非営利活動法人 AMDA	AMDA	https://amda.or.jp/	ブルックス 裕美 Brooks Masami (Ms.)	brooks@amda.or.jp	不問	不問	不問	日常生活レベル以上	①日本(世界基準・行政レベル(国及び自治体)、民間レベル(企業・NPO))の防災及び災害支援について学ぶ。 ②日本で学んだノウハウを元に、自国で実現可能な防災計画・災害支援計画を考える。	日本で作成した「自国での防災計画・災害支援計画」を基に、帰国後、実践に向けて準備を進める。 -防災に関する活動の実施 -備品準備 -防災・災害支援に向けたネットワーク作りなど	在日系人と面会し、研修員の国及び日本の災害発生時、必要な支援を行いあう連携について協議。研修員が帰国後も在日系人の方々と相互支援に向けた準備をすることが可能となる。	0 来日前課題・自国の過去の災害、自国の災害制度・災害対応について調べる。(来日後、AMDA内でプレゼンテーションを実施) 1 講義：日本の防災・災害対応、AMDAの災害対応等 2 訪問：見学・国連・政府関係、行政(国・自治体等)、民間(企業・団体・NPO等) 3 実習：自国の災害制度・災害対応についてプレゼンテーション、自国での防災・災害支援計画作成・発表 4 研修報告